

## ご議論のための参考（案）

今後の酪農・肉用牛生産を取り巻く中長期的な環境として考えられるもの

- ◎ 少子高齢化社会の進展
    - 人口減少と人口構成の変化
    - 畜産経営体の減少、高齢化
  
  - ◎ 消費者における健康志向の一層の高まり
  
  - ◎ 消費者の食に対するニーズへの対応
    - 食の安全と信頼への要請
    - ニーズの多様化、高度化
  
  - ◎ 国民の農業に対する関心の高まり
  
  - ◎ 世界的な食料需給の逼迫
    - 飼料価格の上昇の可能性
    - 酪農・畜産物の国際価格上昇の可能性
  
  - ◎ 国際化の一層の進展
  
  - ◎ 海外からの日本産食料品への評価の高まり
  
  - ◎ アニマルウェルフェアへの配慮
  
  - ◎ 地球環境問題への関心の高まり
  
  - ◎ 効率的・効果的な施策展開の必要性
- 等

今後の酪農・肉用牛生産のあり方をご議論いただくための視点  
として考えられるもの

(基本的な視点)

- ◎ 国際化が進展する中で、所得の増大など産業としての持続性を有し、我が国の食料供給力の強化や自給率の向上、国土の有効活用に資する今後の酪農・肉用牛生産
- ◎ 消費者の食の安全と信頼への要請やニーズの多様化・高度化に応えた食料供給体制としての酪農・肉用牛生産と加工・流通
- ◎ 低炭素・循環型社会など持続可能な社会や社会的な環境変化に対応した酪農・肉用牛生産 等

(個別的な視点)

- 我が国の酪農・肉用牛生産の意義
- 酪農・肉用牛経営における担い手の育成・確保
- 酪農・肉用牛経営におけるコスト低減・省力化等
- ヘルパー、コントラクターなどの支援組織の育成
- 自給飼料基盤に立脚した酪農・肉用牛生産への転換
- 流通飼料の安定的な確保
- 家畜改良による生産性の向上
- 畜産新技術の開発・普及による生産性の向上
- 需要に即した生産の推進
- 多様な酪農・肉用牛の持続可能な経営体像
- 酪農・肉用牛経営の安定のための持続可能な仕組み
- 畜産物に係る安全と信頼の確保
- 食育など畜産や畜産物に対する国民の理解の確保
- 多様化・高度化する消費者ニーズへの対応
- 畜産環境問題への対応
- アニマル・ウェルフェアへの対応
- 畜産物の流通・加工の合理化・効率化 等